



第33号

# 支援員だより

## もくじ

- P 1 支援員さんの声  
P 2～3 活動団体報告  
P 4 環境学習関連施設紹介

発行者：山口県・公益財団法人山口県ひとづくり財団

## 支援員さんの声

昨年、支援員に登録していただいた小学生に、日々の活動の中での思いや、感じたことなどを書いていただきました。

### ぼくはしえんいん

ぼくは、みやのにすむ小学2年生です。

ぼくは、とりがすきです。セグロセキレイ、アカショウビン、一番すきなとりは、カワセミです。ぼくのいえのまわりにもカワセミがいます。

それと、虫もすきです。とくにミヤマクワガタ、ラミーカミキリ、マルハナバチ、ウシアブ、タガメ、ホタルモドキ、ノコギリカミキリです。なかでも一番すきな虫は、ゲンジボタルです。ぼくのいえのちかくの、ふしの川にもゲンジボタルがいます。

ゲンジボタルは、たいちょう10mm～12mmで、ほんしゅう、しこく、きゅうしゅうで見られます。見られるじきは、6月のはじめで、ぼくのたんじょう日のちかくです。

みやの小では、ホタルのことをべんきょうするじゅぎょうがあったり、「ホタルいいん会」といういいん会があります。

「ホタルいいん会」は、ホタルのせい虫をほごして、オスとメスを交尾させてたまごを生ませます。たまごから生まれたよう虫は川ににがしてホタルをふやしていきます。

「ホタルいいん会」は5、6年生がやっています。ぼくも5年生になったら「ホタルいいん会」に入りたいです。「ホタルいいん会」のお兄さん、お姉さんは、しぜんをたいせつにしています。

ぼくも、しぜんをたいせつにして、もっと生きもののすみやすい山口けんにしていきたいです。

宮野小学校2年 伊藤 陽一郎



発行元：（公財）山口県ひとづくり財団 環境学習推進センター  
〒754-0893 山口市秋穂二島 1062  
TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720  
E-mail kankyo.c@hito21.jp  
<https://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/index.php>



# 活動団体報告

## 山口県自然観察指導員協議会の最近の活動

県内で幅広く活動されている  
「山口県自然観察指導員協議会」  
と「水環境地域ネットワーク」の  
取組を紹介していただきました。

山口県自然観察指導員協議会 代表 大田 和彦

私の所属する団体は、来年度創立34周年を迎えます。

最近の活動は、

○昨年11月24日、秋吉台エコミュージアムで令和2年度の総会を行い、総会后、田原義寛氏の「日本の里山のチョウやホタルが急減」の講演があり、身近な普通の生物が少なくなっていると聞きショッキングでした。

午後は、美東町長登銅山一帯で植物観察会を行いました。中沢妙子さんの解説で、秋吉台固有の新種「アキヨシミミナグサ」と銅山跡地に生育する植物を観察しました。アキヨシミミナグサは花の時期ではありませんでしたが、株がまるくなる特徴はよく分かりました。

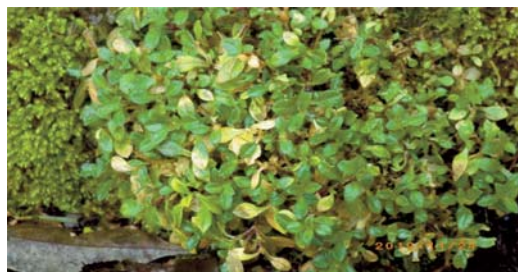
○環境省と日本自然保護協会主催のモニタリングサイト1000里地調査を周南市中須北地区で行っています。6年前から毎月植物相の調査をしており、令和元年11月3日、スーパーサイエンスハイスクールの授業の一環で、県内の高校生30名と一緒に秋の中須北の植物を調査しました。高校生は、種名は分からない様子でしたが、いろいろな植物があることや生物多様性保全のためには継続的な調査が必要であることが理解できたようでした。

○6月21日、秋吉台エコ・ミュージアム主催のカタツムリ観察会に参加しました。会場は長者ヶ森で、増野和幸氏の解説で5種類のカタツムリを観察しました。秋芳洞の駐車場近くの石灰岩では、長さ1~2mmの赤いカタツムリ「ベニゴマオカタニシ」を初めて観察することができました。午後は別府弁天池に移動し、シイボルトコギセルガイ、チリメンカワニナ、アキヨシホラアナミジンナ等珍しいカタツムリの観察をすることができました。

○自然観察指導員講習会案内

日本自然保護協会と山口県自然観察指導員協議会共催で、自然観察指導員講習会が9月19日(土)~20日(日)山口県秋吉台少年自然の家で行われます。自然保護や環境問題に関心のある方、野外活動に関わる方、学校教育関係者、子育て世代の方におすすです。是非、受講され共に自然の保護・保全活動に参加し、豊かな自然を未来に伝えていきましょう。

山口県での開催は、3年ぶりです。参加申込みは日本自然保護協会のHPから



アキヨシミミナグサ



ベニゴマオカタニシ



シイボルトコギセルガイ



# 水環境地域ネットワークの活動

NPO法人 水環境地域ネットワーク 代表 岡谷 政宏

wfen 水環境地域ネットワーク（通称「ウーフェン」）は、

- 1.きっかけを提供する（身近な自然に触れ親しむ機会を提供する）
- 2.自分たちでもやってみる（自然環境の保護保全）
- 3.仕組みを作る（自然保護活動が続く社会）

のスローガンの下、平成 15 年から様々な活動をしています。

設立当初より周南地区の市民プールにて掃除前にヤゴを救出しトンボになるまで自宅で育てる「ヤゴ救出作戦」を実施し昨年で累計参加七千人を超えました。

2014 年より環境省の「モニタリングサイト 1000 里地調査」に周南市中須北地区にて継続調査中です。2019 年は SSH「山口県生徒環境講座」にて活用いただきました。

（「モニタリングサイト 1000 里地調査」については NacsJ 日本自然保護協会のサイトをご覧ください。）

今年度は例年通りの活動ができなくなりましたが、代替措置として「ヤゴ観察作戦」を実施中です。例年「ヤゴ救出作戦」を実施していたプールに「ヤゴ脱出装置」を数か所設置しその様子をホームページに掲載しています。一部は撮影装置を設置してインターバル動画としてご覧いただけます。

また、一部のヤゴは採集し、当会事務所にて飼育しています。その様子も YouTube ライブ配信しています。過去動画のアーカイブもご覧いただけます。主要な部分を簡単にご覧いただけるように只今編集中です。詳しくはアドレス [wfen.jp/yago/](http://wfen.jp/yago/) をご覧ください。

この事業を通じて、今までは参加できなかった人々にも「1.きっかけを提供する」ことができたのではないかと考えています。

これからも掲げた3つのスローガンのもと、「自然について考える」ために様々な活動をしていきます。

今まで様々な活動を気が向いたメンバーが集まり、ゆるい感じでやってきました。

ご興味をお持ちの方は当会までお気軽にお知らせください。

ヤゴ観察作戦



## 希少野生動物種保護支援員研修会

開催の約2か月前に、ホームページに募集案内を掲載します。

	開催日時	開催場所	内容
第1回	R 2. 11月8日(日) 10時~15時	秋吉台エコ・ミュージアム (美祢市) 他	「コウモリの生態」についての学習と コウモリの観察会
第2回	R 3. 3月7日(日) 10時~15時	東和総合センター (周防大島町) 他	「山口県東部海域の環境を守る取組」 についての学習と現地見学

# 環境学習関連施設紹介

自然公園法に基づく、博物展示施設に指定されている「つのしま自然館」を紹介していただきました。

## 北長門海岸国定公園・角島の自然の旅は「つのしま自然館」から始まります

つのしま自然館 自然解説指導員 植田 高弘

つのしま自然館は、海岸線が複雑に入り組んだ美しい景観の広がる北長門海岸国定公園内に立地し、角島のビジターセンターとして、平成15年春に開館しました。角島の自然はもちろん、島の歴史や文化、暮らし等も紹介する資料館的な要素を一部備えています。夏はもちろん、年間を通して県内はもとより、全国各地から来館されています。

### 1 自然館の展示物

まず館内で目立つのが、ツノシマクジラのレプリカです。平成10年9月、角島へ帰港中の船が海士ヶ瀬戸通過中に1頭のクジラと衝突しました。死亡したクジラは、地元の浜に埋められ、その後、再び骨格を発掘し、国立科学博物館において種の同定が行われました。平成15年11月にナガスクジラ属の新種として和名「ツノシマクジラ」と命名されました。他に、来館者が島の自然に興味、関心をもっていただくように分野別に地質・植物・貝・鳥・島の文化や生活（映画のパネルや島の行事等）・漂着物等のブースに分けて展示しています。また、県内の主要海水浴場の砂等も瓶に詰めて比較できるようにしています。

さらに、今秋、角島大橋開通20周年を迎えます。今春閉校した旧角島小学校から当時の工事写真、児童の作文等を譲り受けて館に展示し、20年間の変化を感じていただく企画にしました。



ツノシマクジラ



つのしま自然館前景

### 2 観察会等

自然館には、豊北町自然観察指導員会の会員が駐在して来館者の対応にあたっています。

会の目的は、主に自然観察会の開催、角島の自然環境保全に関する活動及び資料収集と整理等を行っています。昨年度は6回の観察会の内5回の観察会を開催しました（3月の探鳥会はコロナ禍のため中止）。特に、星空ウォッチングは前日の大雨で開催が危ぶまれましたが、当日の夜はきれいな夜空が広がり、夏と秋の星座を観測することができ、参加者9名は土星や木星を観察して角島の夜空を満喫しました。今年は年に4回の観察会を予定していましたが、春の観察会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

その他、夏の昆虫教室、秋の野鳥観察会、野草観察会、冬の打ち上げ貝観察会などを予定しています。今後は、年によっては角島の地質や岩石、星空ウォッチング等も取り上げてみたいと考えています。



親子昆虫教室

### 3 社会教育活動

当館を訪ねる方の目的は、様々です。角島の自然観察（地質・植物・貝・鳥・漂着物等）はもちろん、ハマユウ、ダルマガク、スイセン等の開花状況もお知らせしています。学校関係では、幼稚園児や小学生の社会見学、中学生の職場体験学習、高校生の校外体験活動等の目的で当館を利用されています。また、去年は市内の小学生が理科の「地層」の勉強のまとめとして当館を利用されました。

その他、自治会や各種団体、福祉事業所の方々も研修の一環として当館を利用されることがあります。研修で来館した方には、ツノシマクジラの話、角島が昔「都濃嶋」だった秘密、エメラルドグリーンの海の秘密等々角島の魅力を出来るだけ分かりやすく解説しています。

当館は、今後も環境学習と観光案内を兼ね備えた島の地域資料館として、来館者に役に立つような情報を発信するよう取り組んでいきたいと考えています。